

J A C S
Japan Association
for Consumer Studies

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第9巻第1号

発行日 2001年5月1日

発行 日本消費者行動研究学会事務局

第22回消費者行動研究コンファレンス

春の消費者行動研究コンファレンスの開催日程とその概要が下記の通りに決定いたしましたのでご案内申し上げます。

第1日目に、研究報告と懇親会、第2日目に研究報告と統一論題でのシンポジウムを予定しております。

開催日程決まる!

6月2日・3日神戸(関西学院)で

統一論題: 消費者行動へのマクロ的アプローチ

日時: 2001年6月2日・3日(土・日)

●会場: 関西学院大学上ヶ原キャンパス(兵庫県 西宮市)

●日程: 2日 9:30- 受付開始
10:00 - 12:00 研究報告(自由論題)
13:00 - 14:00 会長記念講演
14:00 - 17:45 研究報告(統一論題)
18:00 - 20:00 懇親会
3日 10:00 - 12:00 研究報告(統一論題)
13:30 - 13:45 会員総会
14:00 - 16:00 パネル・ディスカッション

●費用: 参加費 3,500円(会員外は 5,000円) 懇親会費 6,500円

●申込み: 会員の方は別紙 FAX 返信用お申込用紙、または e-mail(jacs@jacs.gr.jp)でお申し込みください。
(会員以外で参加をご希望の方は、最終頁の申込書に氏名・連絡先等を明記の上、事務局宛に郵便、FAX または e-mail にてご連絡ください。)

日本消費者行動研究学会学会役員名簿(2001年度)

昨年11月11・12日の両日、専修大学生田校舎において開催された第8回会員総会で以下の方々が次期役員として決まりましたのでご報告申し上げます。

会長 青木 幸弘 (学習院大学)	理事 恩蔵 直人 (早稲田大学)
副会長 和田 充夫 (慶応義塾大学)	〃 清水 聡 (明治学院大学)
〃 上田 隆穂 (学習院大学)	〃 守口 剛 (立教大学)
理事 江原 淳 (専修大学)	監事 桑原 武夫 (慶応義塾大学)
〃 土田 昭司 (関西大学)	事務局担当理事 山本 昭二 (関西学院大学)

幹事 青木道代(玉川大学) 石崎 徹(専修大学) 井上哲浩(関西学院大学)
 久米 勉(東京国際大学) 佐々木壮太郎(和歌山大学) 高橋郁夫(慶応義塾大学)
 田中 洋(法政大学) 永野光朗(大阪樟蔭女子大学) 新倉貴士(関西学院大学)
 三浦俊彦(中央大学) 南知恵子(横浜市立大学)

第21回コンファレンス開催される!

統一テーマ「消費と流通のインターフェイス」

去る2000年11月11日・12日の両日、専修大学生田校舎において、第21回消費者行動研究コンファレンスが開催されました。

今回は、統一テーマを「新しい消費者行動の方向を探る」とし、慶応大学の高橋郁夫教授をコーディネータに、以下の10の研究報告に基づき活発な意見交換が行われました。

『キャラクターの選好構造に関する研究』	杉山 征直(立教大学)
『ブランドバックへのこだわりと場面効果』	辻 幸恵(京都学園大学)
『ブランド知識構造論におけるカテゴリー化概念の適用可能性』	徳山 美津恵(学習院大学)
『若者とコンビニ像-買物動機の瞬間に接近する経験サンプリングの方法-』	
	細江 哲志(慶応義塾大学) 今野 雄策(株式会社博報堂)
『消費者の継続購買に関する一考察-消費者の知覚スイッチング・コスト分析-』	
	畑井 佐織(学習院大学)
『バニラアイスのブランド力の測定-官能評価データの構造方程式モデリングによる解析から-』	
	真柳 麻誉美(女子栄養大学)
『日本の消費者と流通の変化についての考察』	永家 一孝(日経産業消費研究所)
『関係性構築のための消費者分析』	花尾 由香里(上智大学) 杉本 徹雄(上智大学)
『FSP データを用いた棚割効果』	中村 博(流通経済大学) 佐藤 忠彦(流通経済研究所)
『循環型社会と消費者行動』	西尾 チヅル(筑波大学)

この他、2日目には、高橋郁夫教授の司会で、中村 博(流通経済大学)、永家 一孝(日経産業消費研究所)、山本 昭二(関西学院大学)の4氏によるシンポジウムが開催されました。

消費者行動へのマクロ的アプローチ

第22回 コンファレンス・コーディネーター 南 知恵子

消費者行動研究学会も第22回目のコンファレンス開催の運びとなった。これまでに消費者行動をめぐる実に様々な問題が取り上げられ、学際的なこのコンファレンスにおいては、人間の消費行動という現象に対して、多岐にわたる discipline の研究者が研究交流を深めることが意図されてきた。その意味で、学会統一テーマとして、共通の議論ができる研究対象領域（例えば価格やサービスといった切り口など）やあるいは方法論自体がこれまで取り上げられる機会が多かったように思う。今回のコンファレンスでは、消費者行動という現象を見る「パースペクティブ」自体を少し変えて議論をする機会をもってみたい、というのが統一テーマ「消費者行動へのマクロ的アプローチ」を掲げた趣旨である。

消費者行動研究においては、1980年代以降、購買意思決定プロセスに関連する消費者の認知処理への関心から、より大きな社会的、文化的システムと消費のコンテキストとの関連に注目する研究へと研究領域が拡大してきている。消費者個人の認知処理に還元されない部分に焦点をあてることにより、消費者行動に対する理解を深めることも可能であろう。

そこでデモグラフィックな問題と消費者市場との関連に対して注目するという、集計レベルでの消費行動へのアプローチと、集計レベルでは捉えきれないマクロ的なトレンドに対するアプローチとを今回統一論題として取り上げた。消費という行動を社会的なあるいは文化的システムの中で捉えなおす、さらに消費という現象を消費者個人の独立したものではなく、マーケティング活動との相互作用の中で位置付け直すといった作業が様々な報告において展開されるであろう。このコンファレンスが消費者行動研究の分析視角という問題を考える上で、研究発展のための一つの契機となることを願っている。

（みなみ ちえこ・横浜市立大学）

本学会への入会を希望される方は、本頁下部の該当項目に☑をし、FAX ないしは郵便にて事務局宛にご返信頂くか、ご希望の項目を明記の上 e-mail にてご連絡ください。折り返し、会員募集案内(設立趣意書、学会会則、会員リスト、入会申込書、等)をお送りさせていただきます。

- [学術会員]** 消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者(在籍経験者を含む)、およびそれに準ずる者(文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教暦を有する者、等)。但し、学術会員 2 名の推薦が必要。
- [賛助会員]** 本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

- [学術会員]** 5,000 円(但し、大学院生の場合は、2,000 円に減免)
- [賛助会員]** 個人会員 1 口 5,000 円 法人会員 1 口 50,000 円

会員募集案内(入会申込書)の送付を希望します。
第 22 回コンファレンスへの参加を希望します。(懇親会: 参加 不参加)

お名前: _____ ご所属機関: _____

ご住所: _____

TEL: _____ FAX: _____

e-mail: _____

(事務局) 〒662-8501 西宮市上ヶ原1-1-155
関西学院大学商学部 マーケティング研究室(山本昭二)
TEL: 0798-54-6375 FAX: 0798-51-0903
Email: sjyama@cvn.bai.ne.jp

(事務取扱) 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-1-39
恵比寿プライムスクエアタワー10F (SPSS 内) 担当: 村田
TEL: 03-5466-5520 FAX: 03-5466-5528
Email: jacs@jacs.gr.jp

* ご入会希望やコンファレンスへの参加お申込み、またお問合せ等は上記までお願い申し上げます。